

第6回教養アップ講座報告

11月1日に「ブロックで考えるチョコレートの世界」という題で愛媛大学教育学部竹下浩子先生に講座をしていただきました。「児童労働」「カカオ豆」「フェアトレード」をキーワードにした講義と、ブロックを選んだり、組み立てたりして、自分の考えを表現し、思いを語るワークが行われました。以下は参加生徒の感想です。

- 児童労働をさせている工場や企業の商品を買わないという行動だけでは、この問題を解決することはできないと思いました。
- SDGsやフェアトレードについてよく耳にする。その情報をなんの疑いもなくただただ受動的に聞いていたけれど、批判する目を持って、自分で見極めることが大切だと気づかされた。
- 私は将来、コーヒーに関わる仕事をしたい。コーヒーとチョコレートは関わりが深いと思っていて、今回の講義で、より自分の将来の夢に関する問題が浮き彫りになった。物事を多角的にみる姿勢を大切にしていきたい。
- 「消費は投票と同じ行為である」という言葉を忘れず、胸に刻んで生活していきます。楽しく充実した学びの時間を過ごすことができたようです。

